

○帝京大学入試説明会の様子と生徒の感想

☆入試説明会に参加した生徒から帝京大学の方へのお礼と感想

3年 T.Iさん

帝京大学 松原様

本日は帝京大学入試説明会をしていただきありがとうございました。

全大学で13位の生徒数を誇る総合大学という点を活かしたオープンカリキュラムや、板橋キャンパスは大学附属病院があり、身近で働く現場を体感できる点に魅力を感じました。

入試説明では、今年の日程が出たことで遂に自分たちの受験の番であるということを実感しました。総合型選抜と学校推薦型選抜の募集人数が増えていることや、併願可能、早期受験で何度もチャレンジ可能なことから、早めの準備が受験において大切になってくることを感じました。「いい日取り」制度によって受験しやすいのも魅力だと感じました。総合型選抜の面接の内容は、志望理由書を元にした志望理由や意欲・PRをすることで、面接官は文系学部なら一人、医療系学部なら二人ということが分かりました。志望理由書は「これまでの自分」と「これからの自分」について説明出来ることが重要だということで、自分をよく見つめて書いていきたいです。また、基本的に連続受験の場合でも面接は2回できることは不安を抱えずに済むので、受験生に優しいと感じました。1日目は不安でも、2日目に向けて多少の心の余裕が生まれると思います。しかし、医療系学部学科で連続受験を利用する場合、面接は一回しかないので注意しなければならないことも分かりました。

WEB オープンキャンパスを開催していたり、予約制の来校型オープンキャンパスはプログラムごとに予約できたりするとのことなので、必要に応じて各オープンキャンパスに参加したいです。

3年 O.Sさん

松原様

今回の説明会は以前とは異なり、今年一年受験生となった自分にとって非常に大きな意味を持つものとなりました。

初めに説明を伺って魅力を感じたことは、帝京大学板橋キャンパスにおいて導入されている講義視聴システムでした。現在本格的に復習を行うようになりましたが、復習を行う際に教科書だけを見てもわからない内容があり、復習が効率の悪いものになっていると感じることが多いです。さらに大学の専門的な内容になると自分だけで復習するということは高校の内容を復習することよりも困難なものだと思うので、受験生となって講義視聴システムの価値が非常に高いものだと捉え魅力的だと感じる事ができました。

次に入試説明においてのいい日取り制度について伺った際は、メリットが多くある反面デメリットもあると考えました。これまで外部の模擬試験を通して受験に似た雰囲気を感じて来ましたが、受験本番の緊張感は自分には想像できないほど異様なものだと考えています。受験本番の空気に慣れようと思っても難しいため、一度雰囲気を覚えておくことができる連日受験は大きなメリットがあると思います。しかし、連日受験をすると2日目以降には精神的かつ身体的な疲労が溜まるため、闇雲に連日受験をすることは逆効果になり得ることもあると考えました。

最後に志望理由書の書き方について伺った際は、意欲や熱意などが文字数だけでは分からないものだと思います。各大学で志望理由書の指定文字数は異なりますがそれぞれに意味があり、指定文字数の違いによって書くという動作から熱意や要約する能力などを評価しているのだと考えました。文章を書く能力や要約する能力は簡単に身につくものではないので、早めに志望理由書を書き、受験方法なども含めて具体的に計画を立てていこうにしたいと思いました。

今回は受験生の視点から説明を伺い、受験の計画を立てるというイメージが明確になりました。お忙しい中説明会を行ってくださりありがとうございました。

